

「千葉市高齢者保健福祉推進計画（第8期介護保険事業計画）【原案】」に関する分科会委員ご意見と回答

No.	頁	項目	意見	回答	修正	所管課
1	35	第2章 千葉市の高齢者を取り巻く状況 3 各種基礎調査からみた現状 (5) 介護保険事業所向けアンケート調査	アンケート項目「⑤千葉市に対して望むこと」の回答第2位「介護保険に関する情報提供」45%となっていますが、介護事業者であれば、事業者側から積極的に介護保険に関する情報を得ようと努めるのが当然のように思います。昔と違い、スマホやPCを通じて厚労省などの情報を簡単に入手可能です。 事業者は、どのような情報提供を市に求めているのでしょうか。	アンケートの回答からは詳細は不明ですが、規模の小さい事業所では事務職員を置いていなかったり、管理者が職場のマネジメントに時間をかけられないなどの理由により、自ら情報収集することが難しい場合もあるのではないかと考えられます。 全ての事業所が、制度等の環境の変化に的確に対応できるよう、引き続き、丁寧な情報提供に努めて参ります。	無	介護保険事業課
2	36	第2章 千葉市の高齢者を取り巻く状況 3 各種基礎調査からみた現状 (6) 千葉市在宅医療・介護実態調査	①在宅医療を必要とする患者数の将来推計において、「訪問診療の1カ月あたりの推計患者数」というタイトルの表がありますが、項目は「在宅訪問診療料」「往診料」「訪問歯科診療料」となっています。 「料」という言葉は入力に誤りはありませんか。	レセプトデータを用いて、各診療報酬を算定した実患者数から、今後の推計患者数を算出しております。 各訪問診療料を算定すると見込まれる患者数であるため、表記に誤りはありませんが、わかりやすくするため、項目に「診療報酬種別（患者数）」の文言を追記いたします。	有	在宅医療・介護連携支援センター
3	48 61	第2章 千葉市の高齢者を取り巻く状況 5 日常生活圏域の状況 (2) 地域の特性にあった地域包括ケアシステムの構築に向けて	資料における区ごとの数値を一つにまとめました（No.3別紙）。この表から意見を述べさせていただきます。 美浜区は、隣の稲毛区に比べ、要介護認定者（認知症を含む）数は決して少なくありません。しかし、美浜区の訪問介護数は稲毛区の6割、通所介護数は稲毛区の4割です。この現状について美浜区の要介護者は不満・不自由さを感じていないのでしょうか。 実は、私の体験談ですが、私が母親の在宅介護をしているとき、自宅は稲毛区小仲台ですが、稲毛区のいきいきプラザではなく、美浜のいきいきプラザのデイサービスを週2回利用していました。プラザ側で送迎サービスはできないが、家族の送迎があればという条件でデイサービスを利用していました。	美浜区はほぼ全域が埋め立て地であるという特殊な事情もあり、事業所の整備が進みにくい状況にあります。 このことから、これまで学校跡地などの市有地・公有地を活用した事業所整備や、大型団地の再整備の際に整備を促す等の取組みを進めて参りましたが、依然、他区に比べて事業所数が少ない状況です。 介護サービスは、事業所の所在する区の区域を越えてサービス提供することができるとはいえ、委員のご指摘のとおり、身近な場所で利用したいサービス提供が充実するよう、引き続き取り組んで参ります。	無	介護保険事業課

No.	頁	項目	意見	回答	修正	所管課
4	48 61	第2章 千葉市の高齢者を取り巻く状況 5 日常生活圏域の状況 (2) 地域の特性にあった地域包括ケアシステムの構築に向けて	コロナ禍で緊急事態宣言などにより全国では事業所の廃業がメディアで報道されていますが、千葉市の現状はどのようなのでしょうか。	利用者が減少するなど、コロナ禍の影響を受けている状況がございますが、「赤字経営・経営困難等」による事業所の廃業数は、例年と比べて特段の増加はありません。	無	介護保険事業課
5	73	第3章 計画の基本的な考え方 5 自立支援・重度化防止の取組目標	この課題は、これまでも幾度となく揭示され、今までも通いの場は、数多く多種に用意されてきたと思いますが、参加者がなかなか増えない状況であると思います。 どのようにして対象者の自覚を促すか、参加に繋げていくかが課題だと思います。	千葉市においても、100歳以上の高齢者が400人を越えるなど、100歳まで生きることが珍しくない社会となっております。 長くなった人生を豊かに生きるために、こうした現状と主体的な健康づくりの重要性について、若い世代や健康な方を含む多くの市民に広く周知するとともに、関係機関等との連携のもと、取り組みやすい環境づくりに努めて参ります。 また、「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の結果では、介護予防のための通いの場に「参加してしない」方は、男性が71.6%、女性が57.2%となっております。 第2層生活支援コーディネーターを全区配置し、生活支援や介護予防サービスの提供体制を強化するとともに、あんしんケアセンターと生活支援コーディネーターが連携し、対象者のニーズに合う通いの場の提案等を行い、参加に繋げるなど、高齢者が地域で自立して生活していけるよう取り組んで参ります。	無	地域包括ケア推進課 健康推進課

No.	頁	項目	意見	回答	修正	所管課
6	78	第4章 施策の展開 基本方針1 高齢者が生きがいを持って元気であるための地域づくり (1) 生きがいづくりと社会参加の促進 <取組事業>介護支援ボランティア	主な取組事業の一つである「介護支援ボランティア」について提言・要望があります。 それは、ボランティア登録し、実際に活動するごとにポイントをつけるという方式です。私の記憶違いでなければ、他市では、ボランティア自身が将来的に介護を受ける側に回ったときに、優先的に以前貯めたポイントを使ってボランティアを受けることができるというシステムを導入しています。 ボランティアをしたいという動機付けの一つになると思います。	本市の介護支援ボランティア制度は、介護施設等での活動を通じて、ご自身の健康増進や介護予防を行うだけでなく、介護施設で働く職員の負担軽減にも寄与するものです。 また、活動時間に応じてポイントを付与し、付与されたポイントは、翌年度にご自身の介護保険料に充てたり、福祉関係基金へ寄附したりすることが可能です。 他市での取り組み状況に関する情報収集や、事業の効果測定などを通じ、引き続き改善を図って参ります。	無	介護保険管理課
7	81	第4章 施策の展開 基本方針1 高齢者が生きがいを持って元気であるための地域づくりを目指して～健康寿命の延伸～ (2)健康づくり	必要な施策だと考えますが、保健所や保健師の業務が過重となっている現状を考えると、実施は容易ではないと思います。 保健所や保健師の態勢強化もしくは業務負担の分散が必要だと考えます。	ご指摘のとおり、限られた人材・資源のなかで効率的な事業運営が大きな課題となっております。 地域の健康づくりには、保健所や保健師の業務に留まらない総合的な視点が必要であることから、各部局との目指す姿の共有、連携、役割分担等に引き続き努めて参ります。 また、特定健康診査やがん検診等の受診率向上においては、民間事業者を活用するなど、効果的かつ効率的な取組みによる実施に努めております。	無	健康推進課 健康支援課
8	90	第4章 施策の展開 基本方針2 支援が必要になっても自分らしく地域で暮らし続けられるまちを目指して	感染症の感染拡大が懸念される中、ケアマネジャーが仕事しやすい環境を作ってもらいたい。 訪問先の高齢者宅は、エアコンも加湿器もない狭い部屋が多いが、密室になるような環境で話を聞くことは命の危険を伴うため、安全を確保するための対応が必要です。	千葉県では、厚労省の通知が出る前の昨年2月末に、市内のケアマネジャーに対して、利用者との接触を最小限に抑えながらケアマネジメントが行えるよう臨時的取扱いを認める通知を出したほか、ケアマネジャーからの「利用者が濃厚接触者になったため、サービスを提供してくれる事業所が見つからない」という訴えを受けて昨年8月から「サービス継続支援事業」を開始いたしました。 今後も、サービスの質の向上と従事者の安全・働き甲斐を両立させるべく、ご意見を伺いながら、取り組んで参ります。	無	介護保険事業課

No.	頁	項目	意見	回答	修正	所管課
9	90	第4章 施策の展開 基本方針2 支援が必要になっても自分らしく地域で暮らし続けられるまちを目指して	<p>地域ケア会議等への参加や「介護相談員」が現地（施設）へ赴いての活動が行われていない状態です。長期にわたる活動が停止している状態の中で利用者本人・介護家族の抱える問題がなかなか浮き彫りになっていません。</p> <p>介護人材を含めて、このような緊急事態が発生したときに今後の課題を含めた施策がどのように必要なかをデータとして残すことも大切ではないかと思えます。今後に生かせることもたくさんあると思えます。基本的な枠組みとは別に、その時に必要とする特化した項目も必要ではないでしょうか。</p>	<p>あんしんケアセンターや生活支援コーディネーターが、地域住民や通いの場の主催者にコロナ禍でのニーズ把握調査を実施しております。</p> <p>また、地域ケア会議において、コロナ禍における高齢者の生活支援について、多職種で検討しました。</p> <p>今後は、とりまとめた結果から見えてきた課題を関係機関で共有し、非常事態に備えた体制整備の検討に活用して参ります。</p>	無	地域包括ケア推進課
10	90 128	<p>第4章 施策の展開</p> <p>基本方針2 支援が必要になっても自分らしく地域で暮らし続けられるまちを目指して</p> <p>基本方針3 だれもが安心できる認知症にやさしい社会を目指して（認知症施策推進計画）</p>	<p>独居の方や認知症の方のサポートにおいて、ご本人のサポートと同時に家族背景の認識(同居別居に限らずお子さんやご兄弟がいても、家族関係がほとんどないと言ってもいい方も中にはいます。独居であってもご近所の方との関わりがとても深くある方もいます。)について、担当部署間で横のつながりを持って情報共有をできるようにシステム構築をしていく事を期待します。</p> <p>そして将来的に、例えば、対象者の方が亡くなった後に起こるであろう空き家問題等の未然防止策にもつながっていけば良いと考えます。</p> <p>このためにも市の担当課の中で横のつながりがさらに必要になるので、この強化を求めます。</p>	<p>認知症やひとり暮らしの高齢者の増加により、高齢者が抱える課題や生活を支えるニーズが多様化しています。</p> <p>高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるには、8050問題や住まいに係る課題を含め、高齢者の生活に関わる様々な視点からの支援が必要であると考えており、医療や福祉のみならず、住まい等、制度や分野ごとの「縦割り」を超えて、地域共生社会の構築を目指して参ります。</p>	無	高齢福祉課 地域包括ケア推進課
11	94	第4章 施策の展開 基本方針2 支援が必要になっても自分らしく地域で暮らし続けられるまちを目指して (2) 地域ケア会議の強化 <取組事業>地域ケア会議の充実	<p>取組内容に現在のように新興感染症時の地域ケア会議の開催は、ICTを取り入れた方法も加えておいた方がよいかと思えます。</p> <p>現状では、会合がなかなかできない状況があり困難しているようです。（コロナは先がみえないことから）</p>	<p>コロナ禍では、感染防止のため、ICTの活用も重要であることから、地域ケア会議でもオンラインの活用を始めております。</p> <p>今後も状況に応じて、ICTを活用して参ります。</p>	無	地域包括ケア推進課

No.	頁	項目	意見	回答	修正	所管課
12	97	第4章 施策の展開 基本方針2 支援が必要になっても自分らしく地域で暮らし続けられるまちを目指して (3) 切れ目のない在宅医療・介護連携の推進 【今後の取組方針】2つ目	訪問看護師を養成します。とありますが、養成→育成とした方が前後が整合すると思われます。	もともと高度な知識や経験を有する医療専門職が、「在宅」というシチュエーションにおける、技能や考え方を専門のカリキュラムを通して習得し、市民の在宅療養に対する対応強化を目的としております。 「在宅療養支援」におけるサービス提供について、技術指導や知識習得が目的であり、医療専門職を育て上げることとは異なるため、「養成」とさせていただいております。	無	在宅医療・介護連携支援センター
13	106	第4章 施策の展開 基本方針2 支援が必要になっても自分らしく地域で暮らし続けられるまちを目指して (6) 災害・感染症対策	介護保険制度改正により介護保険サービス事業ではBCP策定が義務づけられます。 各事業者が単に計画書を作成するだけでは実効性は低いので、事業者に対する訓練方法も含めた技術的支援が必要になると考えます。 研修の実施や個別的支援の態勢整備ができると良いと考えます。	令和3年4月施行の事業所指定基準（市条例）の改正において、BCP（業務継続計画）を策定することとともに、従業者向けにその計画を周知すること、必要な研修及び訓練を定期的実施すること、定期的計画の見直しを行い必要に応じて計画の変更を行うものとするを規定しております（厚生労働省は介護現場向けガイドラインを公表し、今後研修方法等も提示していくとしております。）。 コロナ禍にありますが、非常災害対策が早期に実施されるよう、事業所への支援に取り組んで参ります。	無	介護保険事業課
14			災害時の避難所に関して、福祉避難所の情報や認知症（障害者）に特化した、支援のマニュアル化や介護者家族への周知徹底に取り組んでいただけないかと思ます。	災害時における要配慮者の支援体制構築を促進するため、要配慮者及びその家族の意向確認等をしたうえで、個別計画の作成主体となるケアマネジャーと、市で新たに設置するコーディネーターが、地域と連携して個別支援計画を作成するモデル事業をR3年度に実施予定のため、取組事業に追加します。 個別支援計画には、災害時における要配慮者の支援者、避難手段等の具体的な支援方法について定める予定です。	有	防災対策課 高齢福祉課 地域包括ケア推進課
15	110	第4章 施策の展開 基本方針3 だれもが安心できる認知症にやさしい社会を目指して（認知症施策推進計画）	次期計画上に、本格的・総合的な認知症施策計画を行っていくことが明記されたことを評価します。 団塊の世代が後期高齢者を迎える時期を視野にお願いしたい。	高齢化の進展により、認知症高齢者数は増加することが見込まれています。 認知症はだれもがなりうることから、認知症の人やその家族が、住み慣れた地域で尊厳と希望を持って暮らし続けられるよう、地域共生社会の構築を目指して参ります。	無	地域包括ケア推進課

No.	頁	項目	意見	回答	修正	所管課
16	119	第4章 施策の展開 基本方針3 だれもが安心できる認知症にやさしい社会を目指して(認知症施策推進計画) (3)医療・ケア・介護サービス体制の向上 <取組事業>認知症カフェの設置促進	コロナ禍での認知症カフェの取組みは難しくなっており、形を変えた(ZOOM)等への参加についても、モデル的な活動内容を利用する人たちに伝えてほしい。	コロナ禍において人が集まることが困難となり、認知症カフェの活動も難しい状況となっていることから、コロナ禍におけるカフェの開催について、定期的に認知症カフェの主催者同士のオンラインによる意見交換を行っております。 また、オンラインによるカフェの開催に向けた講習を行うとともに、千葉市認知症カフェ一覧において、オンライン対応が可能なカフェをお知らせしています。	無	地域包括ケア推進課
17	129	第4章 施策の展開 基本方針4 必要なサービスが必要としている高齢者に届く安心なサービス提供体制を目指して	現段階で中間施設としての介護老人保健施設の役割を見直すことが必要である。 急性期のリハ病院の整備と医療的ケアが必要としているが長期に入所できる介護医療院への転換を進める時期ではないでしょうか。 さらに、介護専用型有料老人ホームの整備の方針の見直しが必要と思います。	ご意見をいただきましたとおり、現在、介護老人保健施設の利用者については長期利用者が多いことから、第8期計画においては、介護老人保健施設の在り方を介護医療院の整備と併せて検討を進めていくこととしております。 また、介護専用型有料老人ホームは、空床がある上に市外からの入居者が多くを占めていることから、公募を行う際には、地域密着型に限定するなど、市民の利用に繋がるよう、ニーズの動向をふまえて実施します。	無	介護保険事業課
18	132	第4章 施策の展開 基本方針4 必要なサービスが必要としている高齢者に届く安心なサービス提供体制を目指して (2)在宅支援サービスの提供体制の整備	取組事業として、地域密着型サービス事業所の整備をあげていますが、事業者としては事業規模の割には多数のスタッフを抱えるため人材確保が困難なようです。 また、利用者にとって施設利用者の自己負担額に比して、減免が少ないため、自己負担額が高額となります。確かに、デイサービスは何回利用しても基本料金に含まれていますが、宿泊代(3,000円~5,000円)食事代(1,500円~2,000円)は100%自己負担です。 介護支援専門員の中には「小規模多機能利用イコール裕福な高齢者」という固定観念を抱く人が多いようです。 このような点を解消しないと、小規模多機能など地域密着型事業所の整備を進めることは「絵に描いた餅」に終わるのではと危惧しております。 まずは、利用者の自己負担を減らすための減免措置の導入の検討が必要と考えます。	在宅生活を送りながら、入所施設の利用料に相当するような経済的負担があるために利用が進まないという点に対しては、利用者やケアマネジャー向けに小規模多機能型居宅介護サービスについての理解を広めていくとともに、本市の事業所における法定外費用は市外事業所と比べて特に高いという訳ではないことから、他の指定都市や県内自治体との協議の場で情報交換しながら、利用促進に向けて取り組んで参ります。 また、自己負担の軽減については、引き続き社会福祉法人等利用者負担軽減事業の利用推進について周知を図って参ります。	無	介護保険事業課 介護保険管理課

No.	頁	項目	意見	回答	修正	所管課
19	129 143	第4章 施策の展開 基本方針4 必要なサービスが必要としている高齢者に届く安心なサービス提供体制を目指して 基本方針5 適正な介護を提供するために	介護の担い手を作る長期計画が必要と考えます。 そのために、小学校や中学校での職場体験・職場見学、または施設での交流等の機会を今よりもっと充実させてほしいです。(コロナ禍でのやり方は創意工夫が必要ですが…)	「小中学生向け介護普及啓発研修」として、市内小中学校を対象に体験学習や施設訪問見学会等を実施しています(令和2年度は市が学校への周知を行い、事業は県が実施しました)。 引き続き、各関係機関と連携を取りつつ、事業を実施して参ります。	無	介護保険管理課
20	140	第4章 施策の展開 基本方針5 適正な介護を提供するために (3)介護人材の確保・資質の向上及び定着の支援	介護人材の確保が次期計画を推進するうえで必須課題ですので、取組事業が効果あがるよう実施されることを願います。	介護人材の確保・定着の支援等については、事業者や団体のほか、各事業への参加者を対象としたアンケート等の結果を活用し、より高い効果が見込めるよう努めて参ります。 なお、令和3年度より、介護施設等の大規模修繕時に介護ロボット等を導入する際の補助及び介護職員のための宿舍整備に対する補助を新たに実施予定です。	無	介護保険管理課
21			文書に係る負担軽減を図ってもらい、何をどのように略することができるか等(押印等)について引き続き検討してもらいたい。	介護サービスに関する制度が複雑化していく中で、従事者の負担軽減は喫緊の課題であることから、国の制度変更に準じつつ、市独自の手続きなども含めて、申請書類の簡素化、押印廃止などに取り組んで参ります。	無	介護保険事業課
22	141	第4章 施策の展開 基本方針5 適正な介護を提供するために (3)介護人材の確保・資質の向上及び定着の支援 <取組事業>小中学生向け介護普及啓発研修	良い施策であり、市社協などと連携し、積極的に展開していただきたいと考えます。 また、対象を高校生まで広げて良いのではないかと考えます。	本事業については、市内小中学校のほか、市立高校にも周知しているところです。 引き続き、各関係機関と連携を取りつつ、事業を実施して参ります。	無	介護保険管理課

No.	頁	項目	意見	回答	修正	所管課
23	143	第4章 施策の展開 基本方針5 適正な介護を提供するために (4)低所得者への配慮	<p>次期計画としてサービス提供量と介護保険料の第5段階額について、妥当な線であると思います。</p> <p>介護給付準備基金から25億円を低所得者の負担軽減にあてることについて賛成です。</p> <p>高齢者の貧困化が進んでいる状況下で、消費税増税分を財源とした公費負担を行ったうえで、さらに千葉市独自の低所得者に対する保険料減免と利用者負担軽減対策に使われると理解してよろしいですか。</p>	<p>サービス利用者の増加により、介護保険料の増額が見込まれています。そのような状況の中で、介護給付準備基金を取り崩し(約25億円)、介護保険料基準額の抑制に努めます。</p> <p>千葉市独自の低所得者に対する保険料減免については、収入や資産の状況により、第2・3段階の方の保険料が減免されます。</p>	無	介護保険管理課
24	—	全般	<p>原案については、厚労省の報酬改定に関する資料(社会保障審議会-介護給付費分科会第199回資料)とも確認し、了承。</p> <p>高齢者がよく行く区役所等の出先が、住民サービスに直結するため大事。</p>	区役所等とも連携して、住民サービスの向上に努めて参ります。	無	—
25			<p>介護保険事業計画全体として、いわゆる数値のエビデンスがあり「みえる化」の配慮がなされています。</p> <p>行政が持っている保健・医療・介護などのデータ、今期事業計画のために行った調査も有効に使われて分析されています。</p>	今後もデータ等の活用に努めて参ります。	無	—
26			<p>説明動画(youtube分科会委員限定公開)を拝見しました。</p> <p>書面だけで見るより、書面を見つつ、耳から情報が入ることは、理解の助けになりました。</p>	<p>緊急事態宣言が再発令されたことを受け、委員皆様の安全を最優先に考慮しまして、分科会の開催に代わり説明動画を配信させていただきました。</p> <p>今後も情報共有等の様々な手法の試みに努めて参ります。</p>	無	—